

とよひら・りんく NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局

看取り介護体制の構築を目指して

第2回終末期カリキュラム研修会を開催



2012年9月24日(月) 18:30~20:00 西岡福住地区センター

第2回終末期カリキュラム研修会を開催致しました。

地域の医師、訪問看護師、介護支援専門員、介護施設の管理者・看介護職など合計69名の参加がありました。

盛岡市にて先駆的に取り組みを行っている板垣園子氏(チームもりおか所長)、菊池要子氏(有限会社ぬぐまるの家取締役)を講師にお招きし、看取り介護の実践例などを講演して頂きました。

講演① 「大切な人を看取る幸せ～チームもりおかの活動と看取り介護への支援～」 板垣園子氏(チームもりおか)

同地域と共に平成23年度から厚生労働省在宅医療連携拠点事業で取り組みを行っている医療法人葵会チームもりおかの板垣園子所長に講演して頂きました。盛岡市の在宅療養支援診療所で常時300名程度の患者様の訪問診療を行い、年間約100名の看取りを行っている訪問診療専門の無床クリニックです。

チームもりおか方式の情報共有システムをご説明して頂いた後に、看取り介護への支援についてお話して頂きました。「退院は、地域への退院」「看取りに関わるスタッフを孤独にしないこと、チームで支える・寄り添う」ということを教えて頂きました。

アンケート(一部)

- ・チームケアの連携の大切さやケアをするスタッフの支え方がよく分かった。(グループホーム介護職)
- ・チームで寄り添い、支え合っていくことで不安感も軽減できるのだと感じました。(有料老人ホーム介護職)
- ・具体的な看取り実践のお話がきけて、大変参考になりました。(グループホーム看護職)
- ・きちんと組織として活動をしている。地域やご家族との関わりも大変参考になりました。(医療機関看護職)
- ・具体的な連携イメージができ、参考になりました。(有料老人ホーム看護職)

講演② 「住み慣れた地域、施設で看取ること」 菊池要子氏(有限会社ぬぐまるの家)

盛岡市の有料老人ホームで看取り介護を実践されている菊池要子氏(有限会社ぬぐまるの家)に講演して頂きました。

医療機関との連携がスムーズに行え、現場のスタッフの想いが入居者のケアに最大限発揮されている印象を受けました。

介護施設での看取り介護の実践例についてお話して頂きました。「尊厳ある死ではなく、尊厳のある生を考える」とのお言葉など、実際に現場の第一線で看取り介護を実践されている方のお話に終末期のケアの在り方を考える良い機会となりました。

アンケート(一部)

- ・入居者に関わる全ての職員、ご家族を含め信頼関係の構築が重要であると感じました。症例があり、とても分かりやすかったです。(医療機関看護師長)
- ・安らかに看取る支援に徹するご覚悟に敬意を称します。スタッフの安心と医師の意志が大切という言葉に共感しました。(医療機関看護師)
- ・スタッフの想いがとても伝わり感動しました。(医療機関看護師)
- ・医療機関から施設へ退院する時期が重要であると感じました。(有料老人ホーム施設長)

全体セッションから

講演後、講師のお二人を交えて、参加者と全体セッションを行いました。
アンケートなどで多くの意見を頂きました。

- ・安心、信頼が大切だとあらためて感じました。(医療機関医師)
- ・今回は現場のお話が聞けて、イメージがつかみやすかった。(医療機関看護師長)
- ・多職種、それぞれの立場での考え方、取り組みは参考になります。(訪問看護師)
- ・とても新鮮なお話として、有意義な会でした。安心して旅立てる場合は、本当に大事だと思います。(訪問看護師)
- ・多職種が共有できる情報ツールを利用し、リアルタイムに共有することが必要だと思います。(医療機関看護師)



(講演会)板垣園子氏



(講演会)菊池要子氏

- ・看取り介護に向けて、もう少し制度、法律的なことも勉強しなければと感じました。(有料老人ホーム施設長)
- ・記録の大切さ、信頼関係の大切さは日々の支援にも看取りにも大切であると感じました。(有料老人ホーム介護職)
- ・事例がとても参考になりました。リハビリ職として出来ることを考えていきたい。(介護老人保健施設リハビリ職)
- ・最終的には指針を作成し、取り組みを進めて行きたい。(ケアハウス施設長)

- ・関わる全ての職種の連携が大切だと実感しました。(有料老人ホーム看護職)
- ・看取りを受け入れる体制、姿勢について、色々とお話が聞けて、良かったです。(有料老人ホーム看護職)
- ・また他の施設のお話をお聞きしたいです。(特別養護老人ホーム看護職)

今後の終末期カリキュラム研修会のご案内

今回、先駆的な実践事例を講演して頂きました。講演のアンケート結果も参加者から「大変良い」「良い」の回答を頂き、今後の参考になった研修会であったと思います。

次回第3回終末期カリキュラム研修会は12月17日(月)に行います。喀痰吸引、CVポート、HOT、除細動器等の体験会を行います。ぜひご参加下さい。

今年度最後となる第4回終末期カリキュラム研修会は2013年1月28日(月)に行います。当地域のいくつかの施設の方に施設での看取り介護の取り組みについて、実践報告をして頂く予定です。



(講演の様子)

豊平区地域包括支援センター運営会議にて講演を行いました。

9月25日(火)18:30~豊平区保健センターにて豊平区地域包括支援センター運営会議が開催され、「災害に対する関係機関、団体の取り組みの現状や課題」についての意見交換がありました。

当会の五十嵐知文副会長(西岡病院副院長)から「在宅医療連携拠点事業(復興枠)災害時の連携」の講演をさせて頂きました。

地域の各団体から貴重なご意見を頂きましたので、災害に対応する上でも連携し、今後の活動に活かしていきたいと思っております。

事務局より

11月26日(月)第3回合同会議

12月17日(月)第3回終末期カリキュラム研修会

1月28日(月)第4回終末期カリキュラム研修会

詳細情報はホームページにてご確認ください。

とよひら・りんく事務局 西岡病院 地域連携室 岡村・川村

電話 011-853-8322(平日9-17時)

メールアドレス: okamura@keiwakai.jp

とよひら・りんく ホームページ <http://www.toyohiralink.jp/>